

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立二之江第二小学校

校長名 杉山 勇

名称: 総合

学校の教育目標	○思いやりのある子 ・やりぬく子 ・元気な子 ○考える子 本年度の重点目標を「思いやりのある子」「考える子」とする。
----------------	---

総合的な学習の時間の目標	
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

本校の目指す総合的な学習の時間で付けたい力	
1 問題を解決する能力を養い、自己の生き方について考えることができるようにする。 2 児童が自己のよさを見出し、自己を表現することに喜びを感じるができるようにする。 3 豊かに人とかかわり、地域を愛する児童をはぐくむ。 4 人権課題について正しい理解と認識を深める。 5 情報に関する能力を高めるとともに情報モラルを育む。	

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
・問題の中から課題を発見して設定する。設定した課題の解決方法や手順を考える。 ・多様な情報の中から課題にあった情報を見つけ選択して、学習や生活に生かそうとする。	
思考力・判断力・表現力等	
・目標を設定して、課題の解決に向けて行動する。 ・自らの生活の在り方を見直し、自己の将来を考え、夢や希望をもつ。	
学びに向かう力・人間性等	
・課題の解決に向けて地域の活動に参加する。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。	

内容	学習対象	学習事項
第3学年	学校にある蓮田の歴史や文化を調べる それに携わる人々と交流する(蓮植え・蓮掘り) 二之江の町について調べる 江戸川区のイベントを調べよう 世界のスポーツについて調べよう 俳句を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付いた蓮田の歴史 ・地域の人との関わり ・学校や公園の緑を見直し、環境を守る活動
第4学年	地域の伝統・文化について学習する(金魚) 環境問題について調べよう 世界について調べよう 学んだことを生かそう(学習発表会)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統や文化について知る(周年行事と関連させ、この地域の蓮の歴史について調べる) 地域の文化を体験する(金魚) ・環境を守るグリーンカーテン(ヘチマ・ツルレイシ)を調べよう ・世界の国々について調べる。(2か国) ・これまでの学びや成長について考える
第5学年	日本の伝統や文化(和食・俳句・礼法) 世界遺産 礼法を学ぼう 学校の伝統(鼓笛・にこにこ班) SDGsについて調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・和食について調べ、実際に作って食べる。伝統文化を知り体験する。 ・周年記念式典に向けてこの地域の歴史を調べ、まとめる(蓮等) ・世界遺産について調べる ・この二仕草を考えたり鼓笛を引き継いだりして学校の伝統を受け継ぐ ・自分達にはどんなSDGsに関する取り組みができるか調べ、実行する。
第6学年	日光の自然や文化について学習する 世界の国々について学習する 礼法を学ぼう SDGsについて調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日光の自然・文化・歴史を調べる ・周年記念式典に向けてこの地域の歴史を調べ、まとめる(蓮等) ・世界の国々について調べる(3か国) ・自分達にはどんなSDGsに関する取り組みができるか調べ、実行する。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は地域、4年生は地域の伝統文化、身近な環境、5年生は日本の伝統文化、世界遺産等、6年生はSDGs、国際理解等を主なテーマとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に課題意識を持たせ、発展させる支援。 ・個に応じたきめ細やかな指導の工夫。 ・教科との関連的・発展的な指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の効果的運用 ・ICT機器を活用しての学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の指導と評価の一体化の充実。 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施。